

指導内容の系統性を課題とした国語料教育実習 — アンケート調査の分析と考察 —

上越教育大学 有沢 俊太郎

塚三調研料をとる
 うらト学語収析す
 則か一料国回分告
 正月ヶ省学。リ報
 木ニン部大度よが
 常年ア文立のに者
 、三ての国こ究表
 郎成い度の。研代
 太平つ年国る同を
 俊。に三全あ共要
 有で方。で、概
 ・)あ成りもいそ
 表春の平受たつそ
 (代正習、をれにで
 (田実は)わ目の
 会藤育査。行項た
 究、教調査にトき
 研究、料の研象一で
 題さ語こ般対ヶが
 問ま国。一をンと
 育木、た(官アこ
 教高てし金教各うる
 料、け施助当、行あ
 語考か実補担てをで
 国泰にを費育え察の
 田月査究教終考も
 上越わ段ハは実。の
 行想る題。の

のら構至課
 学か。にいう
 大度施在
 想年実現
 構九のた
 新五習き
 は知演て系
 習昭(し「統
 定に習返。た
 有対象実リが
 教対の繰た
 したをこを
 生をこを
 四年は、誤
 課題、有試問
 課、有試問
 性を表り々
 性表り々
 統お発わ様
 系に。か、て
 育木、た(官
 教高てし金
 料、け施助
 語考か実補
 国泰にを費
 田月査究教
 上越わ段ハ
 行想る題。

のら構至課
 学か。にいう
 大度施在
 想年実現
 構九のた
 新五習き
 は知演て系
 習昭(し「統
 定に習返。た
 有対象実リが
 教対の繰た
 したをこを
 生をこを
 四年は、誤
 課題、有試問
 課、有試問
 性を表り々
 性表り々
 統お発わ様
 系に。か、て
 育木、た(官
 教高てし金
 料、け施助
 語考か実補
 国泰にを費
 田月査究教
 上越わ段ハ
 行想る題。

授業、特色、
 記録、系統性
 授業、特色、
 記録、系統性
 授業、特色、
 記録、系統性

見と確認
 発せながら、
 見と確認
 発せながら、
 見と確認
 発せながら、

実験室
 教材、
 実験室
 教材、
 実験室
 教材、

(実習)ついで、
 実習)ついで、
 実習)ついで、
 実習)ついで、

教育にとる意見が
 教育にとる意見が
 教育にとる意見が
 教育にとる意見が

大切このめが
 大切このめが
 大切このめが
 大切このめが

修大る固なす
 修大る固なす
 修大る固なす
 修大る固なす

(専)門さう様生
 (専)門さう様生
 (専)門さう様生
 (専)門さう様生

引専えさたに
 引専えさたに
 引専えさたに
 引専えさたに

の手料考をたに
 の手料考をたに
 の手料考をたに
 の手料考をたに

の教を盤ら実
 の教を盤ら実
 の教を盤ら実
 の教を盤ら実

研究も「基世の
 研究も「基世の
 研究も「基世の
 研究も「基世の

地校系統の寄降
 地校系統の寄降
 地校系統の寄降
 地校系統の寄降

実学「演習)に以
 実学「演習)に以
 実学「演習)に以
 実学「演習)に以

教育小(演)調査年
 教育小(演)調査年
 教育小(演)調査年
 教育小(演)調査年

『はで習一、
 『はで習一、
 『はで習一、
 『はで習一、

学校で項定ケて
 学校で項定ケて
 学校で項定ケて
 学校で項定ケて

学大)専のンし
 学大)専のンし
 学大)専のンし
 学大)専のンし

究、料の研象一で
 究、料の研象一で
 究、料の研象一で
 究、料の研象一で

題さ語こ般対ヶが
 題さ語こ般対ヶが
 題さ語こ般対ヶが
 題さ語こ般対ヶが

問ま国。一をンと
 問ま国。一をンと
 問ま国。一をンと
 問ま国。一をンと

育木、た(官アこ
 育木、た(官アこ
 育木、た(官アこ
 育木、た(官アこ

教高てし金教各うる
 教高てし金教各うる
 教高てし金教各うる
 教高てし金教各うる

料、け施助当、行あ
 料、け施助当、行あ
 料、け施助当、行あ
 料、け施助当、行あ

語考か実補担てをで
 語考か実補担てをで
 語考か実補担てをで
 語考か実補担てをで

国泰にを費育え察の
 国泰にを費育え察の
 国泰にを費育え察の
 国泰にを費育え察の

田月査究教終考も
 田月査究教終考も
 田月査究教終考も
 田月査究教終考も

上越わ段ハは実。の
 上越わ段ハは実。の
 上越わ段ハは実。の
 上越わ段ハは実。の

行想る題。の

この教育の析
 この教育の析
 この教育の析
 この教育の析

つきたは想で
 つきたは想で
 つきたは想で
 つきたは想で